



王一だより

令和4年10月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本直美

教育目標 ㊦仲良く助け合う子 ㊧身体をきたえ元気な子 ㊨よく考え最後までやりぬく子 ㊩親切で礼儀正しい子

心豊かに成長した1学期、「あゆみ」で励ましを

校長 岡本直美

10月7日(金) 令和4年度 1学期終業式を迎えることができます。子供たちはこれまで、ぴかりンピックや水泳学習、4年生の那須移動教室、6年生の日光高原学園、5年生の岩井自然体験教室など、子供の成長に欠かせない様々な体験や活動を実施することができました。保護者や地域の皆様に見守られながら、心豊かに成長した1学期でした。これからも、コロナ感染症対策を講じ、安全・安心を確保して、子供たちに価値ある学びを導くよう努めてまいります。

さて、1学期終業式の日、担任より子供たち一人一人に「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」は、子供の学びに対する今現在の評価です。今の評価は、学級内における割合で評価する相対評価ではありません。子供が、学ぶべき目標に対してどれだけ到達しているかを捉えて、それを次にどのように生かしていけばよいかを考えるためのものです。保護者の皆様には、「あゆみ」の各欄に書かれている日々の学習の様子に即して、お子さんを認め、励ましていただけたら幸いです。そして、2学期の学習・行動に向け、頑張るべき点などについて、お子さんと話をしてみてください。「あゆみ」を仲立ちとして、家庭と学校が同じ歩調で「上手な励まし」をすれば、教育効果はぐんと上がります。

ここで、学級担任の1学期のあゆみ所見(抜粋)をいくつか紹介させていただきます。

★授業中に、手を挙げて発言することがたくさんあります。調べ学習の際には、自分で図書館で本を借りて資料を集めるなど、意欲的に学習に取り組んでいる姿が見られました。★トマト等の野菜の観察では、野菜が長い時間をかけて少しずつ育っていくことに気が付き、これから野菜を食べるときには感謝したいとワークシートに記入していました。(低学年)

★クラスで配布物があると率先して配ったり、当番の仕事では難しい作業を自分からすすんで行おうとしたりと、自分にできることに積極的に取り組みました。★ノートの文字がたいへん丁寧で、色を変えたり、項目ごとにまとめたりと、分かりやすいノートづくりをしようと工夫しました。(中学年)

★温かい人柄が縦割り班のリーダーとしての活動に表れていて、下級生に慕われながら、毎回の活動を楽しく盛り上げています。★授業中は、教師の話や友達の発言を必ず目を見て傾きながら聞き、話を聞くときの大切な姿勢が育ちました。(高学年)

2学期は、落ち着いて学習や活動に取り組むことができ、心身ともに成長できる実りの多い学期です。子供たちには、何事にもねばり強く取り組み、自分の成長を感じられるようにと願っています。

遅刻・早退時のお願い

10月より、お子さんが遅刻をする際には、保護者の方に正門のインターホンで要件をお伝えいただき、お子さんを教室まで連れて行き、担任に直接引き渡してください。また、早退の際にも、教室までお迎えに行ってください。ご理解ご協力をお願いいたします。

※これまで、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者の学校への立ち入りを制限していましたが、コロナへの対応の変化や状況を鑑み、緩和することにしました。校舎内では、児童との接触は、できる限り避けるようお願いいたします。また、手指消毒やマスクの着用をお願いいたします。